



銚子ジオパーク市民の会 ニュース

屏風ヶ浦 (銚子市)



第104号

2020年1月23日 発行

発行責任者 工藤 忠男

編集責任者 藤身 隆雄

TEL 0479 24 2225

<http://choshi-geopark.com/>

2020年の銚子ジオパークにとって
今年は再認定審査の年であります

工藤 忠男

新年あけまして、おめでとうございます。

銚子ジオパークも8年目の新しい年がスタートしました。

昨年は銚子ジオパークと市民の会が新しいことにチャレンジした年でした。まず、夏の第四紀学会との共催による銚子における第四紀学会の開催

です。市民の会の皆さんの協力により成功のうちに終了いたしました。ジオツアーだけでなく、銚子電鉄車両を利用しての懇親会など、市民の会の皆様の活動は第四紀学会の皆様に感謝されました。

次に、灯台ワールドサミットにおけるジオガイドです。それから君ヶ浜国有林が、通称「銚子ジオパークの森」になりました。これからは君ヶ浜国有林との関係が深くなると思

います。ナルク銚子と一緒に進んでいる海岸清掃と同じように「銚子ジオパークの森」の清掃を行うようになります。市民の会皆様の協力をお願いいたします。

ジオパーク推進協議会事務局中心で毎年行っている市内小学校6年生対象の「学校支援」は屏風ヶ浦だけでなく大岩も対象とすることになりました。更に文化財班に協力しての余山貝塚の案内他、近頃では教室での防災授業を取り入れる学校も多くなり、市民の会の協力も広範囲に及んでいます。これからも学校支援の内容は変化していくと思いますので、市民の会の皆様の柔軟な対応をお願いいたします。

他に犬吠埼テラステラスでのガイド等、ここに書ききれないほどの新しいチャレンジがありました。

さて、今年の秋はジオパークの2度目の再認定審査があります。前回

の再認定審査では「自然が素晴らしい事は大切だが、市民がジオパークとどう関わっているかが大切です」とご指導いただきました。

今年はいくまでの市民の会の活動を一層充実させ、全員一丸となって頑張っていくましよう。

JGN 関東大会 in 伊豆大島
分科会4・地層大断面の
見学 松家 英彦

大会一日目。午前のバーチャルジオツアーの役割を終えてホッとした上、絶好のお天気にも恵まれた分科会(見学)だった。

ガイドは伊豆大島ジオの白井さん。解説は火山岩石学専門の産総研の川邊先生。53年の大島外周道路工事でたまたま出現した地層大断面(地層

の大切な断面という、厚さが24m、全長640mの大きくうねった姿は美味しそうなバームクーヘン。スコリア層/火山灰層/土壌化層の鮮やかなストライプパターンが100層ほどあり、18000年前から1700年前までの、大島の100回ほどの大噴火の記録。我が屏風ヶ浦とは違った様相であった。また、途中に地層のダブル不整合があり、まさにエキセントリックな感あり。この地層断面の景観保持のため年2回クレーンを使った除草が行われている。

地層の反対側には利島新島、神津島などの伊豆諸島が遠くに見えた。こうしてあつと言う間の1時間半の露頭見学を終え、振り返るとオレンジ色に染まったバームクーヘンが見え、これだけでも伊豆大島にきた値打ちがあると思えた。最後に一句

「晩秋の大島 バームクーヘン 類染めて」

JGN 関東大会 in 伊豆大島
教育分科会 房州 文字

「噴火させちゃう? 化石発掘しちゃう? 触って試して作っちゃおう」ということで6地域の体験型ワークショップや実験コーナーを共有し、より良い物にするために意見交換をし、ネットワークの強化に繋げる目的の分科会でした。

実演時間は10分。箱根(箱根火山岩石標本作成、筑波山地域(筑波山見たまま砂絵で地質図)、那須烏山(粒度表づくり)、浅間山北麓(火山噴火実験

地層づくり)、伊豆大島(カルデラ、地層の向き方そして銚子チームは(化石のレプリカづくり)の実演をしました。

レプリカを作る目的として化石の大切さや国定公園なのでハンマーなどを使った採取が禁止されていることを子供たちに伝えると共に、学校の授業や地域の祭り、各種イベントに参加していること、また夏休みの自由研究ツアーなどでも実施していることを発表しました。発表のためにレプリカの型や石膏のレプリカ、実物の化石などをリュックで背負っていきました。重かったですが、良い経験になりました。

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓



JGN 関東大会 in 伊豆大島
教育分科会 房州 文字

「噴火させちゃう? 化石発掘しちゃう? 触って試して作っちゃおう」ということで6地域の体験型ワークショップや実験コーナーを共有し、より良い物にするために意見交換をし、ネットワークの強化に繋げる目的の分科会でした。

実演時間は10分。箱根(箱根火山岩石標本作成、筑波山地域(筑波山見たまま砂絵で地質図)、那須烏山(粒度表づくり)、浅間山北麓(火山噴火実験

地層づくり)、伊豆大島(カルデラ、地層の向き方そして銚子チームは(化石のレプリカづくり)の実演をしました。

レプリカを作る目的として化石の大切さや国定公園なのでハンマーなどを使った採取が禁止されていることを子供たちに伝えると共に、学校の授業や地域の祭り、各種イベントに参加していること、また夏休みの自由研究ツアーなどでも実施していることを発表しました。発表のためにレプリカの型や石膏のレプリカ、実物の化石などをリュックで背負っていきました。重かったですが、良い経験になりました。

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

写真: 伊豆大島、箱根火山、筑波山、那須烏山、浅間山北麓

